

湧水

 議会だより

9 月定例会

第20号 平成21年11月17日
発行

題字は栗野小学校 6 年生
松木菜奈さん



四部落太鼓踊り奉納（吉松地区南方神社）



ヒガンバナ（稲葉崎地区興辺）

主な内容

一般会計補正予算等	2
議決一覧・陳情等	4
20年度決算	6
一般質問	10
第3回臨時会	14

総合交流施設修繕料

● 169万1,000円

当初予算に不足する修繕料を増額計上するものです。



修繕される総合交流施設空調ボイラー

肥薩線全線開業 100周年記念事業補助金

● 100万円



昔の吉松駅舎

平成21年11月21日で全線開業100周年を迎える肥薩線の記念事業に対する事業補助として計上するものです。

この事業は、肥薩線の歴史を振り返ると同時に、沿線全域の交流人口の拡大と地域産業の振興並びに地域の活性化を図ることを目的に実施されます。

農道等整備工事費

● 1,690万円

農道の交通の安全性向上を図るため、補修工事費を計上するものです。



農道川影線（米永地区）

条件不利森林公的整備緊急特別対策事業委託料

● 129万6,000円

10年以上除間伐が実施されていない町有林を整備するため計上するものです。



未整備林の現状（木場大水堀）

丸池湧水販売運営補助金

● 298万8,000円



丸池湧水販売事業を行う商工会へ運営補助として計上するものです。

町道等整備工事費

● 7,710万円

町道の交通の安全性向上を図るため、29ヶ所の工事費を計上するものです。



町道北方本線

平成21年 第三回定例会

一般会計補正予算

2億2,176万円可決



総額 75億7,149万円に

第三回定例会は9月10日招集され、10月8日までの29日間の会期で開催されました。今定例会では、平成21年度一般会計補正予算、特別会計補正予算及び水道事業会計補正予算のほか、条例改正の可決と平成20年度の各会計の決算を認定し、陳情2件を採択しました。

一般質問では、議員4名が9項目について質問しました。

伊佐湧水消防組合特別負担金

● 656万3,000円

伊佐湧水消防組合が、老朽化に伴い更新整備する高規格救急車の導入事業費3,099万8,000円に対する構成市町の負担分を特別負担金として計上するものです。



購入する同型の高規格救急車

ログキャンプ村施設整備事業

● 1,912万9,000円



バンガロー建設予定箇所

栗野岳ログ・キャンプ村の利用促進と施設の充実を図るため、設計費とバンガロー3棟の建設工事費を計上するものです。

こんなことが 決まりました

議案等		提案理由等	結果
報告第2号	鹿児島県市町村土地開発公社の経営状況の報告について	地方自治法第243条の3第2項の規定による鹿児島県市町村土地開発公社の経営状況について報告するもの。	—
報告第3号	湧水町土地開発公社の経営状況の報告について	地方自治法第243条の3第2項の規定により湧水町土地開発公社の経営状況について報告するもの。	—
報告第4号	平成20年度湧水町健全化判断比率の報告について	地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定に基づき、平成20年度湧水町健全化判断比率の4指標を、報告するもの。	—
報告第5号	平成20年度湧水町水道事業会計資金不足比率の報告について	地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項の規定に基づき、平成20年度湧水町水道事業会計資金不足比率を報告するもの。	—
認定第2号	平成20年度湧水町一般会計歳入歳出決算の認定について	歳入 71億4318万505円 歳出 68億2314万9059円 差引 3億2003万1446円	認定
認定第3号	平成20年度湧水町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入 15億8841万8491円 歳出 15億4629万8197円 差引 4212万294円	認定
認定第4号	平成20年度湧水町老人保健事業特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入 2億4026万2483円 歳出 2億2729万2167円 差引 1297万316円	認定
認定第5号	平成20年度湧水町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入 10億7382万126円 歳出 10億6140万8064円 差引 1241万2062円	認定
認定第6号	平成20年度湧水町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入 1億2952万7651円 歳出 1億2911万151円 差引 41万7500円	認定
認定第7号	平成20年度湧水町水道事業会計歳入歳出決算の認定について	給水収益 1億6213万9221円 当年度純利益 114万4290円	認定
議案第40号	財産の取得について	小型動力ポンプ積載車1台と小型動力ポンプ積載車1台の軽トラックを取得したため、地方自治法第96条第1項第8号及び湧水町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決を求めるもの	原案可決
議案第41号	財産の取得について	平成20年度地域活性化・生活対策臨時交付金事業により、ふるさとバス2台を取得したため、地方自治法第96条第1項第8号及び湧水町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決を求めるもの。	原案可決
議案第42号	湧水町過疎地域自立促進計画の変更について	平成17年度から平成21年度までの過疎地域自立促進計画の一部を変更したため、過疎地域自立促進特別措置法第6条第6項の規定により、議会の議決を求めるもの。	原案可決
議案第43号	湧水町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	本年10月1日から平成23年3月31日までの特例措置として、出産育児一時金を暫定的に、現行の35万円から39万円に改正し、産科医療補償制度に加入する医療機関等で出産する場合の医療機関掛金相当額3万円を上限として加算した額を支給しようとするもの。	原案可決
議案第44号	平成21年度湧水町一般会計補正予算(第5号)	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億2176万1000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ75億7149万7000円とするもの。	原案可決
議案第45号	平成21年度湧水町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ328万1000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ16億4603万7000円とするもの。	原案可決
議案第46号	平成21年度湧水町老人保健事業特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ481万9000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ3833万3000円とするもの。	原案可決
議案第47号	平成21年度湧水町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ20万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億4741万4000円とするもの。	原案可決
議案第48号	平成21年度湧水町水道事業会計補正予算(第3号)	事業執行等に伴う営業費用の増減と、河川改修等による工事費等に係る補正が主なもの	原案可決
陳情第6号	保険でよい歯科医療の実現を求める意見書を政府に提出することを求める陳情書	患者負担を少なくとも2割へ軽減させるよう対策を講じ、より良質な歯科医療ができるように少なくとも10%診療報酬を引き上げるよう意見書を政府に提出して頂きたい。	採択
陳情第7号	水上原一号線(幸田地区)町道改修工事早期着工に関する陳情書	抜本的改良工事をなし、災害・事故のない生活ができるよう自治会住民の署名を添えて陳情する。	採択
発議第6号	保険でよい歯科医療の実現を求める意見書	陳情第6号を受け意見書を政府へ提出するもの。	原案可決



私の陳情書



保険でよい歯科医療の実現を求める意見書を政府に提出することを求める陳情書

陳情者

湧水町木場 上原 士郎氏 他

患者負担を少なくとも2割へ軽減させるよう対策を講じ、より良質な歯科医療ができるように少なくとも10%診療報酬を引き上げるよう意見書を提出して頂きたい。



採 択

歯科受診の自己負担は増大し、患者の歯科受診の障害になっている。特に低所得者・低資産層においてはお金の心配なしに受診できるよう患者負担を減らす必要がある。(陳情を受け政府へ意見書を提出)

水上原一号線(幸田地区)町道改修工事早期着工に関する陳情書

陳情者

大王自治会長 濱崎 睦博 氏 他

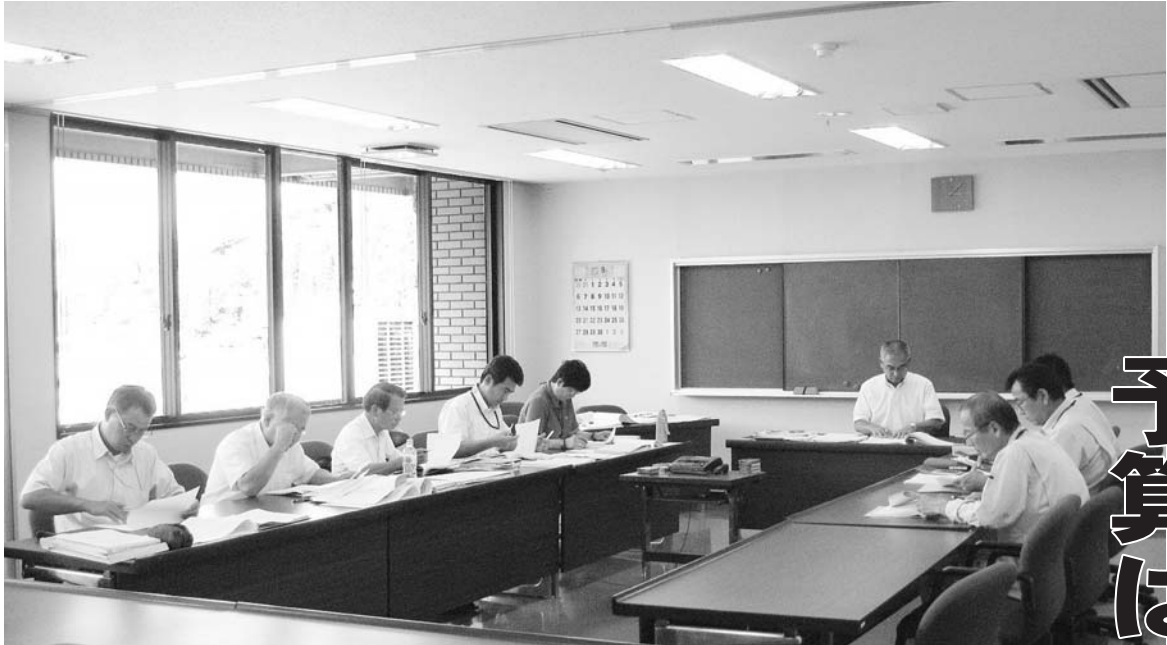
路肩の沈下や石垣の膨らみなど危険の度合いが増加し、大雨の後は流末が民有地に流入する。また大型車が通るその傾いた路肩を電動車イスが通行し、いつ惨事が起きても不思議でない状況であることから、本路線の抜本的改良工事をなして頂きたい。用地に関しては地権者の了解も得ている。



採 択

安全性を考えると計画的に事業として予算化すべきである。

会計を認定



予算はどう

決算審査特別委員会審査報告

活かされたのか

平成21年第3回定例会において、平成20年度歳入歳出に係る決算の認定に付する議案が上程され、決算審査特別委員会を設置。それぞれの会計の予算執行状況と施策の成果について、審査を実施しました。

審査の着眼点
予算が目的に従って適正かつ効果的に執行できたか。どのような行政効果が発揮できたか。また、改善工夫がどのようになされるべきか等。

審査期間

平成21年9月16日
～10月1日

決算審査

特別委員会委員

委員長

池上 滝一

副委員長

綾織 まち子

委員

境田 公明

上水流 功

篠原 三千人

飯屋 良二

審査場所

吉松庁舎
2・3委員会室
及び現地調査

平成20年度

すべての

(円)

	一般会計	特別会計			
		国民健康保険	老人保健	介護保険	後期高齢者
歳入総額	71億4,318万505円	15億8,841万8,491円	2億4,026万2,483円	10億7,382万126円	1億2,952万7,651円
歳出総額	68億2,314万9,059円	15億4,629万8,197円	2億2,729万2,167円	10億6,140万8,064円	1億2,911万151円
差引額	3億2,003万1,446円	4,212万294円	1,297万316円	1,241万2,062円	41万7,500円
繰越明許費繰越額	8,568万5,000円	0円	0円	0円	0円
実質収支額	2億3,434万6,446円	4,212万294円	1,297万316円	1,241万2,062円	41万7,500円

水道事業	収益的		資本的	
	収入	支出	収入	支出
	2億761万4,456円	2億398万8,392円	2億5,824万5,853円	3億401万9,773円

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額4,577万3,920円は、過年度分損益勘定留保資金で補てん

審査結果の概要

平成20年度湧水町一般会計・特別会計歳入歳出決算について、決算書、主要施策成果説明書、審査資料等に基づいて、7日間で40時間をかけて室内審査及び現地調査（抽出）した結果、本町の歳入歳出決算状況は予算編成に基づき効率的に執行され、所期の成果を収め、財政運用状況も概ね良好であると認定いたしました。

平成20年度における歳入・歳出の特徴

〔歳入〕

- ・ 地方税の増額：法人税割分の増加
- ・ 地方交付税の増額：国の施策に伴う交付税の増
- ・ 繰入金の減額：財政調整基金・減債基金・地域づくり基金の繰り入れがなかった。
- ・ 地方債の減額：災害復旧事業債及び臨時地方道整備事業債の減額

〔歳出〕

- ・ 人件費の減額：職員給の減額、退職手当組合負担金の減額
- ・ 公債費の減額：約4億5千万円の返済。今後も緩やかに減少していく予定
- ・ 投資的経費の減額：前年度は大規模な災害復旧事業及び桶寄川排水機場整備事業等があったが、20年度は該当する事業がなかった。

総合交流施設管理費

6,486万円

- 内容** いきいきセンターくりの郷の温泉設備、研修室、町民ホール、テニスコート等の管理運営を行うものです。(歳入合計約3,450万円)
- 質疑** 施設も古くなれば修繕費等も多くなり経費も係る。今後の運営の中で歳入を増やすといった具体的な対策はあるのか。
- 答弁** 利用者(収入)関係については、町内は横ばいですが、町外が減少しています。利用者増はなかなか難しいですが、図書館、物産館とも連携をとって検討していきたいと思えます。

シルバー人材センター運営事業

620万円

- 内容** 管理運営のための補助金で、国と同額の620万円であります。20年度末会員数が125名、20年度契約金額5127万7792円。
- 質疑** 運営補助金の使用目的は主に何か。
- 答弁** 主に人件費等に充てています。受託費の10%は事務費としてもらっていますが、とてもそれだけでは運営できません。シルバー人材センターを円滑に運営するためのものです。

救急医療事業

2,160万円

- 内容** 休日、夜間における住民の医療の確保に対する関係団体への支援で、始良郡医師会と始良郡歯科医師会への補助金及び負担金であります。
- 質疑** 病気やケガで緊急を要することが多々ある。本町の病院に在籍されている先生方に居住していただければ多に助かるのだが、その要望は。
- 答弁** 年に1回だけ予防接種等の日程調整のため、先生方と協議する場があるので、検討したいと思えます。

健康増進事業

2,692万7,000円

- 内容** 健康増進法及び高齢者の医療の確保に関する法律に基づく、生活習慣病予防等のための事業で、内容は胃がん、子宮がん、乳がん、肺がん、大腸がん等の検診及び健康教室の開催であります。
- 質疑** 国の指針で特定健診の受診率を平成24年度までに達成率65%目標と示してあるが、本町の現状は約29%である。今後において目的達成に向けた施策はあるのか。
- 答弁** 20年度からの5年間でそれぞれ1年毎の受診率目標を掲げていますが、初年度は35%の目標を達成できませんでした。今後はメタボ等に効果のあった方々の体験記などを広報で活用し、健診の必要性を訴えていきたいと思えます。また、町民の方々が受けようという気持ちになれるよう他市町村の良い事例なども参考にして対策を検討してまいります。

図書購入事業

875万6,832円

- 内容** くりの図書館の図書購入が主なもので、一般図書3,041冊、児童図書1,608冊、ビデオ69点分であります。(住民一人当たりの貸し出し冊数は、本年度も県内では突出して1位であります。)
- 質疑** ビデオの単価が高いと察するが、どのようなものか。
- 答弁** アニメ、教育関係、一般的邦画・洋画などに分類して、なるべく偏らないように構成して購入しています。一般的なものからすると視聴覚ビデオは約3倍の価格であり、中には著作権の関係から15分くらいの内容で2万7千円ほどするものもあります。

米政策改革対策費

1,863万302円

- 内容** 主なものは、小規模排水対策事業で水田対策推進に伴う排水対策の一環として原材料等を支給し、転作目標面積の達成と転作物の反取引き上げと定着を図るためのものです。
- 質疑** 転作事業対策の効果は。また問題点や今後の取り組みはどうか。
- 答弁** 転作につきましては、目標の耕作面積に対して100%達成しています。ただ、転作先進地と比較すると転作物における利益の分野で遅れをとっていると感じています。地域別で環境の違いはありますが、転作で利益が出る対策を今後において考慮していきたいと思えます。

下場土地区画整理事業

2億9,941万円

- 内容** 区画整理事業は、路線・場所ごとに事業名が違い、交付金事業、地方特定道路単独事業、単独事業に分けて行われています。住環境や排水路等の整備、宅地の利用促進が図られています。
- 質疑** 区画整理事業を早く終わらせるためには町費の予算増額を図る方法しかないのか。またこの事業を中断することができるのか。
- 答弁** 現在は補助金を率先して活用しているので、今後は町費の予算次第で事業の進捗が前後します。早い完成を要望される町民も多いので、庁舎内で協議し予算の確保に努めていきたいと思えます。またこの事業は途中で止めることも可能ではありますが、その時点で事業完成とみなされて、再度の補助金は受けられません。

吉松小学校建設事業

2億1,578万8,500円

- 内容** 鉄筋コンクリート3階建てで、床面積が約3032㎡、20年度末で事業全体の20%の出来高がありました。
- 質疑** 解体工事で発生した産廃処理の確認は確実に実施されたか。
- 答弁** 当然のことながら解体工事にも関係法令があります。建設副産物適正処理推進要綱等に基づいてマニフェストを提出させ、最終処分業者が確実に処分しましたという証明書を添えて報告する仕組みになっていますので、適正な処理が実施されています。

竹中池整備工事

609万円

- 内容** すばらしい景観を維持することを目的に、藻の除去作業を簡易にするためのものです。砂800㎡、栗石470㎡を池の中に敷き詰めています。これからも川添地区や建設会社の方々からボランティアをもらいながら藻を除去し、景観の維持に努めていきます。
- 質疑** 池周辺の雑草除去作業等についてはどうしているのか。
- 答弁** ソーメン流し周辺については組合の方々にお願いしています。散策道についても同じであります。

平成20年度財政状況の総括

平成20年度は、決算規模（歳入・歳出総額）、決算数値（財政力指数、経常収支比率、公債費比率等）、地方債（借入）残高において前年度を下回り、積立金現在高においては前年度を上回る結果となりました。この結果をふまえると財政状況が少しずつ改善されつつあると言えます。ただし、この状況を維持向上させるためには、長期的な視野で行財政運営を考慮することと、今後においても継続した取り組みを行うことが必要であります。

本町の現状は、これまでと変わらず自主財源が少なく依存財源に頼った歳入構造と、公債費などの経常経費の割合が高い歳出構造は本年度も変わっておらず、この財政構造の改善強化が大きな課題となっております。

を問う

ここが
聞きたい!

議員4名

上水流 功 議員



自然環境の中で体験学習を

地球全体の自然に視点を当て推進しております

上水流 森林の教育機能について2点教育委員長の見解を伺う。

(1)自然科学的・社会的教育機能について

教育長 森林の持つ多機能性、循環性、持続性といった特徴は、児童・生徒にとっては、おいしい水の提供、野生動物のすみか、リフレッシュや遊びの場等につながり、学校教育にも重要な関わりがあると考えております。

自然科学的には、児童・生徒が森林に触れたり、森林に学んだりすることで、自然の成り立ちや在り方に係る興味・関心を促進させることができます。

社会科学的には、人間と森林のかかわりを意識させることで自然との共生の大切さを理解させることができるのと同時に、

循環型社会構築の必要性の意識を培うことにもつながっていくと考えております。

上水流 (2)森林の教育機能と町教育行政の現状、今後のあり方について

教育長 学校での森林に関する教育を推進することで、児童生徒は森林・林業の重要性について理解を深め、さらに自然災害防止や地球温暖化防止としての森林の役割や、森林整備の必要性などを学ぶことができます。

このような学習内容は、社会科学や理科等の教科での学習、そして生活科や総合的な学習時間等に取組みることが可能であります。

以上のようなことを踏まえ、各学校では森林と

の関連を含め、地球全体の自然に視点を当てながら「環境教育」を推進しております。

上水流 体験学習は、次世代を担う後継者の育成に役立つ。積極的取

り組みを望む。

その他の質問

①水源地地の保護対策について

②副町長の設置について



楽しい体験活動

町 政



橋口 昌博 議員

質問及び答弁の内容は質問者自らが要約したもので、未修正のまま掲載しています。

橋りょうの計画的整備は 総合的に検討していきます

橋口

一級町道北方本線及び植村本城線の両路線は改良済みであるが、架設されている「湯穴橋」「上村橋」「二渡橋」の橋りょう部が狭小で交通安全上危険であると考え、両路線とも本町の基幹的町道である。計画的に整備する考えはないか伺う。

町長

一級町道北方本線は延長3,312mであり、湯穴橋は一級河川竹下川に昭和37年に架設されたものであります。植村本城線は延長5,520mで上村橋



改良が望まれる北方本線湯穴橋

は一級河川上村川に昭和51年3月に架設されており、二渡橋は一級河川幸田川に昭和43年12月に架設されたものであります。架設後33年から47年を経過した橋でいずれの橋も道路改良区間として過疎計画で整備箇所として搭載されておりますが、特に湯穴橋については豪雨時に竹下川の氾濫により水没することから道路整備と併せて行う必要があります。なお植村本城線の起点から上村橋、二渡橋までの道路については道路改良で歩道の整備がなされております。昨今

の厳しい財政状況の中、これらの橋の架け替えについては多額の工費を必要とすることから、早急な整備は難しい状況です。整備について総合的に検討していきます。

定住促進について

橋口

田尾原塔ノ原に分譲住宅団地が完成し、総区画数71のうち58区画が販売され、そのうち32区画で住宅が建設され103名の自治会員で轟小児童68名中16名が在学している。しかし



自治公民館建設が望まれる塔ノ原自治会

町長

自治会の会議を開くにも自治公民館がないため、個人宅か地区の集会所を借りて会議等を行っている状況である。何らかの形で自治公民館を建設できないか伺う。

塔ノ原自治会は町内外から定住され協働して自治会活動に取り組んでおられます。また一般の自治組織とは形態が違う面もあり単独での建設は難しい面もあると思います。今後自治会と話し合いをもち建設について検討していきたいと考えています。

本町の豊富な湧水の活用策は

条件を整えば検討してみたいと思います



西牟田徹也 議員

西牟田 豊富な湧水や栗野岳農業用水路を活用した小水力発電施設設置の事業構想は考えられないか。また二酸化炭素の排出抑制による地球温暖化防止の一環としての取り組みも重要課題と考えるが、町長の所見を伺う。

数が利用していた発電所跡地の農業用水路等を活用した発電計画について町長の見解を伺う。

町長 水利権の問題などありますが、条件を整えば検討してみたいと思います。

地域活性化

西牟田 経済危機対策臨時交付金でサル・シカ被害対策が講じられたが現状はどうか。また増え続けるシカ対策をどのように講じる考えか伺う。

・シカ被害対策が講じられたが現状はどうか。また増え続けるシカ対策をどのように講じる考えか伺う。

町長

緊急的な対応で農家の方々への周知が徹底されていない面がありますので再度周知を図り被害の防止に努め、国・県の防護柵の設置事業等を導入した対策を講じて参りたいと思います。

インフルエンザ対策

西牟田 インフルエンザの集団発生が予想されるが、行政としてどのような対策を講じる考えか。また緊急事態としての対応策はどのようなか伺う。

想されるが、行政としてどのような対策を講じる考えか。また緊急事態としての対応策はどのようなか伺う。

町長

小水力発電にはCO2排出量が極端に少なく再生可能なエネルギーであると考えますが、施設の設置及び維持管理、設置管理者等課題も多く、また国策として取り組む課題でもあり、直接的な発電施設設置の事業構想は考えていません。

西牟田

落差及び条件の整った栗野岳水路日添地区の開拓入植者30戸



サル・シカの防護柵

町長

医療機関や保健所等の関係機関と連携してその対策に努めるとともに、教育委員会と情報を共有して対応が遅れることがないように努めて参ります。また緊急事態に備えて、防護服やマスク・消毒液の備蓄をさらに進めて参ります。



篠原三千人 議員

産廃問題の情報公開を図れ

現在のところ本町には県からの協議はありません

地方分権（主権）

篠原 衆院選で強調された地方分権の行政や住民のメリットや意義と実現のための課題や対応策を伺う（住民参画の観点で）

町長 地方分権が進み道州制になり県境を越えた広域自治体などが生まれ、広域防災体制も可能など様々な意義やメリットが言われています。本町では地域ニーズに対する行政サービスの展開のため議会やパブリックコメントなど住民の意見を聞きながら広域行政のあり方について取り組んで参ります。

副町長選任などの人事

篠原 副町長の選任・組織の再編など住民の期待と不安の払拭と職員モチベーション向上のためにも早急な対応を

伺う。

町長 副町長の選任は検討中であり、組織再編は策定中です。職員はやる気を持っています。

産廃問題の情報公開

篠原 町内における民間の産廃施設開発の概要や必要性及び公害対策等について行政機能と義務的観点から経過や状況等情報（知る権利）提供する考えはないか伺う。

町長 産廃処理業者が県と協議中であると聞いていますが、現在のところ本町に県からの協議はありません。

篠原

住民や議会が賛否の対立状況になつてはならない。国や県の基準を高いレベルで越えた循環型必要施設であるとか、前述の概要や国の環境関連法や県の環境基

本条例・農地法・環境型地域活性化や隣接市町など広域連携も図った手続きなど住民の対立でない価値の共有で最終判断できると調査研究し情報提供して頂きたい。地方分権や住民参画事例にもなり、町長一人が苦勞判断する必要もない。

町長 私なりの責任というのがありますので、自分の体験を通じながら次の対応をどうするかというのは自分なりに考えております。



湧水町の水・緑・空をどのように活かすか

こんなことが **決**まりました

議案等		提案理由等	結果
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて	平成21年6月29日に鹿児島地方裁判所加治木支部に提出された、森のやかた湯ったり館管理組合の委託契約料支払請求事件に緊急に対応するため、職員の旅費や訴訟代理人となる弁護士への委託料、また、証人喚問等で必要となる裁判所への予納金を計上するもの。(計171万7,000円)	承認
議案第36号	財産の取得について	消防ポンプ自動車1台を取得したいため、地方自治法第96条第1項第8号及び湧水町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決を求めるもの。	原案可決
議案第37号	平成21年度湧水町一般会計補正予算(第3号)	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3億2,244万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ73億4,823万6千円とするもの。	原案可決
議案第38号	平成21年度湧水町水道事業会計補正予算(第2号)	水道施設の9配水池について、耐震性能一時診断を行うために一般会計からの補助金と耐震性能一時診断設計業務委託料について収益的収入及び支出それぞれ210万円計上するもの。	原案可決
議案第39号	平成21年度湧水町一般会計補正予算(第4号)	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ150万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ73億4,973万6千円とするもの。	原案可決

福祉施設工事

● 1,335万2,000円

福祉施設の充実と利用促進を図るため、シルバーケアセンターの施設整備工事費と福祉センターの老朽化に対する改修工事費を計上するものです。



改修されるシルバーケアセンター

ため池等整備事業

● 3,000万円



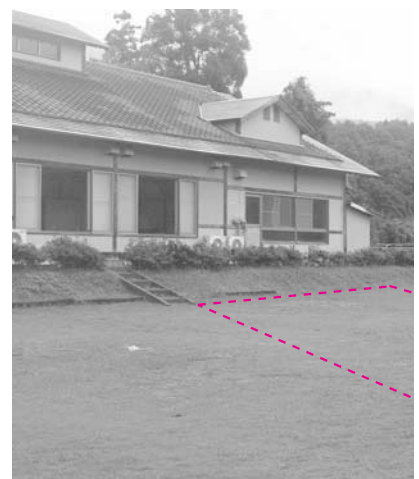
米永地区王ノ山

老朽化したため池の機能回復と、安全性向上を図るため、調査測量設計及び工事費等を計上するものです。

湯ったり館改修事業

● 1,847万円

湯ったり館の利用促進と施設の充実を図るため、設計監理、休憩室の増設等工事費及び備品購入等の経費を計上するものです。



増設予定箇所

平成21年 第三回臨時会

一般会計補正予算

3億2,394万円可決

第三回臨時会は8月3日招集され、8月10日までの8日間の会期で開催されました。今臨時会では、森のやかた湯ったり館管理組合の委託契約料支払請求事件の必要経費についての一般会計補正予算専決処分の承認と、消防ポンプ自動車（1台）購入に伴う契約承認、さらに現下の厳しい経済・景気への対策として、国の平成21年度補正予算第1号により措置された、地域活性化・経済危機対策臨時交付金等に基づく各種事業が予算計上され、原案のとおり可決しました。

跨道橋等整備工事 負担金

● 4,400万円

高速道路上の跨道橋（4箇所）の打音検査と補修に要する経費を西日本高速道路株式会社への負担金として計上するものです。



公営住宅用地 造成工事費

● 2,500万円



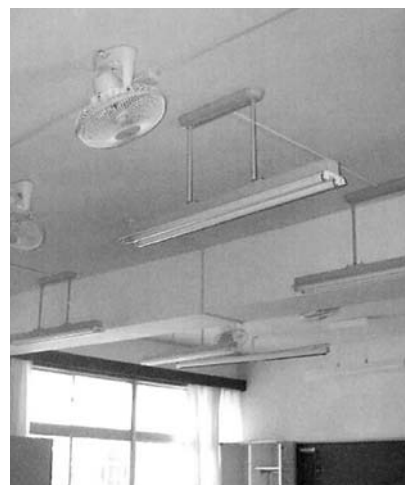
幸田地区造成予定箇所（幸田小学校前）

住宅等用地の適正管理を行うため、現在取得している上場地区と幸田地区の公営住宅等用地造成工事費を計上するものです。

小学校施設整備工事

● 6,179万6,000円

安全・安心な教育環境の充実を図るため特別教室の天井扇及び教育用パソコン等の更新経費を計上するものです。



設置される天井扇

地域活性化・経済危機対策臨時交付金とは

国の平成21年度補正予算（第1号）により創設された交付金で、地方公共団体が行う地球温暖化対策、少子高齢化社会への対応、安全・安心の実現、その他地域の活性化等に資する事業に対し交付されます。

本町においては、8月臨時会で2億2,121万1,000円、9月定例会で1億1,479万7,000円を計上しており、未計上（留保）額999万2,000円とあわせると合計3億4,600万円となる見込みです。

また3月定例会で可決された地域活性化・生活対策費臨時交付金2億3,712万3,000円と合わせると5億8,312万3,000円となる見込みです。

ゆうすいの花 ヒガンバナ

道端などに群生し、9月中旬に赤い花をつけるが、稀に白いものもある。生長の仕方は独特で、夏の終わりから秋の初めにかけて、高さ30-50cmの花茎が葉のない状態で地上に突出し、その先端に5-7個前後の花がつく。開花後、長さ30-50cmの線形の細い葉をロゼット状に出すが、翌春になると葉は枯れてしまい、秋が近づくまで地表には何も生えてこない。開花期には葉がなく、葉があるときは花がない。

花言葉は 「情熱」、「悲しい思い出」、「独立」、「再会」、「あきらめ」



ヒガンバナの里 稲葉崎地区興辺

傍聴にお越しく下さい。

次の定例会は12月上旬予定

編集後記

今年も本県に台風の上陸はなかった。近年台風の進路が九州を避けて近畿、東海、関東以北に向かうよう感じられます。過去の経験からするとなんでだろうと思います。

一方ではいつ、どこで降るか分からないゲリラ豪雨が、今年も全国各地で被害をもたらしました。将来の気象異変が危惧されます。

さて、議会だより20号発行に当たっては、間違いなく理解してもらおう、読者が知りたいことにこたえる紙面に編集員一同努力しました。（上水流）

議会広報調査特別委員会

委員 長	西牟田 徹也
副委員 長	宮里 廣昭
委員	池上 滝一
同	山上 功
同	山口 忠人
同	橋口 昌博

